

平成29年度 ワークセンター夢の樹 就労継続支援B型 事業実績報告書

1 総括

事業再編により、ワークセンター夢の樹の就労継続支援B型は夢の樹みどりの一部利用者を迎え入れ、定員50名、現員が74名でスタートした。28年度に比べて、定員で20名増、現員で33名増となったが、実態としては2つの事業所で構成される形であった。

事業規模やまた活動の利便性を考慮し、29年度は実態に即した形の2グループ編成でスタートさせた。各グループとも前年度までの活動を継続することができ、概ね順調に新体制に移行できたといえる。

再編により機能分化を図ったことで、当事業所は就労支援の充実が大きなテーマとなった。利用者一人当たりの生産性については前年度比で増額し、その効果があったといえるが、職員の大幅な異動も影響し、前年度までの活動を安定して継続させることに多くの費やす結果となり、一人ひとりの作業支援においては十分な支援効果が出しきれなかった1年でもあった。

特に上半期は、事業所の方針の明確化や職員間の連携が不十分となり、職員個々の判断基準や価値観で支援が行われる場面もあった。下半期はこの反省から、支援計画の共有とこれに基づく支援方針の統一、また支援経過の丁寧な記録やミーティング等による情報共有、支援の評価に取り組み少しずつ改善が見られているところである。30年度はこの取組みの上に更に事業の充実を図りたいと考える。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-3
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50人
- 6) 利用現員 71人（平成30年3月31日現在）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員
管理者 1名
サービス管理責任者 1名
職業指導員 9名（常勤換算8.4）
生活支援員 9名（常勤換算7.1）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

職員グループ別内訳

- ・あかしあグループ
職業指導員 3名（常勤換算2.6）
生活支援員 4名（常勤換算3.4）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）
- ・みどりグループ
職業指導員 5名（常勤換算5.8）
生活指導員 5名（常勤換算3.7）

3 基本理念

一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

【あかしあグループ】

- 1 基本方針 利用者個々の特性にあった作業の保障
生き生きと働ける職場
職業指導の充実

賃金の保障
日中活動の保障
豊かな生活の支援
利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援
利用者への相談支援
安心できる将来への支援

2 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- (1) 傘の値付け
- (2) ダイレクトメール封入、封緘
- (3) 小平市報の折り、封入、封緘
- (4) 電化製品の基盤解体作業
- (5) 公園清掃
- (6) 神社清掃
- (7) 入所施設清掃
- (8) 事務封筒製作
- (9) 緑化推進事業

2) 行事

- (1) 年間計画
 - 4月 春のバスハイク（東京都浜松町方面）
 - 5月 小平市障がい者運動会
 - 8月 夏のバスハイク（お台場、汐留方面）
 - 10月 秋の一泊旅行（栃木県那須塩原方面）
 - 12月 お疲れ様会
 - 1月 初詣
- (2) その他
喫茶（月2回）

3 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
作業	9:50～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

4 重点課題・目標

1) 利用者の健康保持

利用者の生活状況、留意事項一覧表を基に日々の体調観察に努める。変化等があった際は家族に連絡を取り、必要があれば医療機関に直接電話連絡を行う。

【成果と課題】

上半期利用者の支援方針が事業所全体で共有されておらず、支援記録も丁寧に取り残されていた。体調面の観察についても、職員個々の判断基準により、見守りや支援を行なう状況であった。その反省を踏まえ、下半期に支援方針の統一を行なうため、健康に関する留意事項一覧表を作成し、会議で確認を行なった。また、ケース記録に前述の留意事項を記載し、留意事項を意識した支援とその記録を行うように努めた。支援経過等についてはミーティングで報告し合い、全体で共有するよう努めた。下半期に行なった新たな取組として、通所時のバイタルチェックや通院同行などが挙げられる。

2) 道具の活用による利用者の作業能力向上

作業用ルーペ、ピンセットなどの道具の使用や必要に応じた自助具の開発により、利用者が作業の向上の可能性を図る。

【成果と課題】

手元が見えにくく、細かい作業が不自由になった利用者に対し、老眼鏡や作業用ルーペを整備した。道具を整備したことで手元が見えるようになったが、利用者個々が、これまでの実施方法に慣れていることもあり、結果的には、使用が継続されなかった。利用者個々の作業状況の検証が不十分であったことに伴い、自助具開発の取り組みにつながらなかった。

3) 安定した作業提供

利用者の作業が途切れないように計画的に作業を受注する。

【成果と課題】

ダイレクトメールについては、これまで受注していた4件に加え、新たに1件増加した。また、事務封筒作成作業も、継続して受注できたことにより、作業が途切れることなく利用者に安定した仕事を提供することが出来た。

4) 利用者の生活課題への対応

28年度に作成した生活上の課題に関する留意事項一覧表の見直しを行い、課題の早期発見と必要に応じて関係機関との連携による支援を行う。

【成果と課題】

1)と同様、生活課題についても事業所全体で共有されておらず、支援記録も丁寧に取り残されていた。改善、実施状況についても1)と同様。

5 その他の課題・目標

1) グループ間の連携

各グループにリーダー職員を配置し、施設長と連絡を密に取ることで情報共有や相互協力を実施し、組織として一体的に事業が行えるようにする。

【成果と課題】

上半期、施設長と各グループリーダーのコミュニケーションが不足し、各グループの状況が正確に施設長に伝達されない状況や施設長の指示がグループ全体に周知されない状況が散見された。下半期この状況の改善を図り、毎日の定期報告を実施することで、施設長と各リーダーのコミュニケーション強化に努めた。まだ、十分とはいえないまでも徐々に状況は改善しつつある。

各グループ間の相互協力については、作業の共同受注や職員の相互補完など、年度当初より協力体制が取れていた。

2) 作業収益の増加

安定した受注、作業の効率化、新規作業開拓などで作業収益の増加を図る。

【成果と課題】

みどりグループと共同でダイレクトメール作業を計画的に受注した他、公園清掃、緑化推進事業、その他不特定の軽作業を計画的に実施し、就労支援事業における利用者工賃を除いた利益は1,709,569円となった。一人当たりの1日平均収益は870円となり、再編前のワークセンター夢の樹の28年度一人当たりの1日平均収益553円と比較して317円増加した。

6 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

7 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健士等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努めた。

8 防災計画

災害時避難訓練を年3回実施した。

9 その他

福祉サービス第三者評価受診した。

【みどりグループ】

- 1 基本方針 利用者個々の特性にあった作業の保障
生き生きと働ける職場
職業指導の充実
賃金の保障
就労移行支援との連携
日中活動の保障
豊かな生活の支援
利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援
利用者への相談支援
安心できる将来への支援
- 2 実施事業（活動内容）
 - 1) 就労支援事業
 - (1) ポスティング作業
 - (2) 焼き鳥の串刺し
 - (3) 作業マンション清掃
 - (4) 事務封筒製作
 - (5) 緑化推進事業
 - (6) 空き缶つぶし
 - (7) ダイレクトメール封入・封緘
 - (8) 公園清掃
 - (9) 資源回収
 - 2) 生活支援事業
 - (1) 生活支援プログラム（週3日実施）
 - (2) 夕方生活支援事業（週3日実施）
 - 3) 行事
 - (1) 年間行事

4月	永年勤続表彰式・新社会人を祝う会
5月	小平市障がい者運動会
6月	コカ・コーラ工場見学
7月	カラオケ
8月	川遊び、みんなの音楽会
9月	ピクニック（小金公園）
10月	多摩六都科学館見学
11月	秋の一泊旅行（静岡県浜名湖方面）
12月	忘年会
1月	成人を祝う会
2月	東村山中央公園（スポーツ）
3月	カラオケ

(2) その他

音楽教室（月2回）

3 日 課

開所・送迎	8:30～9:00
朝礼	9:00～9:20
準備	9:20～9:40
作業	9:40～10:40
休憩	10:40～10:50
作業	10:50～11:50
休憩	11:50～13:00
昼礼	13:00～13:10
作業	13:10～14:10
休憩	14:10～14:20
作業	14:20～15:20
実績票記入	15:20～15:30
終礼・お茶	15:30～15:40
送迎・清掃	15:40～16:30
作業点検・記録等	16:30～17:00
職員打ち合わせ	17:00～17:30

4 重点課題・目標

1) 利用者一人ひとりの作業に対するやりがいと責任感の構築

やりがいと責任感を持って利用者一人ひとりが作業に従事できるよう、以下の2点を今年度の重点目標として取り組む。

- (1) 一人ひとりに対して職業指導計画を作成し、目標設定を明確にすることで職業指導の充実を図る。
- (2) 一人ひとりの作業レベルや状況に合わせた、声かけ、作業目標の設定とその達成度の共有など行い、作業意欲の向上を図る。

【成果と課題】

上半期利用者の支援方針が事業所全体で共有されておらず、支援記録も丁寧に取りられていなかった。事業所側の意識やスキルの不足もあるが、事業再編による職員の交代が大きく影響したことも一因である。下半期に支援方針の統一を行なうため、作業支援計画の作成を行った。また、その重点目標をケース記録に記載し、目標を意識した支援とその記録を行うように努めた。支援経過等についてはミーティングで報告し合い、全体で共有するよう努めた。取組を始めたところであり、この成果の評価は次年度以降と考えている。

2) 就労支援事業収入の収益拡大

工賃向上を図るために、就労支援事業収入の前年度比130万円アップを目標とする。各事業の年間売上目標は以下の通りとする。

(1) 資源回収事業収入 680万円(前年度比80万円増)

⇒資源回収先を新規開拓し、1か月の回収量4,000キロ増加を図る。

(2) 受注事業収入 270万円(前年度比50万円増)

⇒ダイレクトメール作業を大幅に増加し、1か月の目標受注量を前年度比14,000部増の22,000部とする。

【成果と課題】

資源回収事業については、大幅な職員の交代があったことから、新任の職員の業務の習得が優先課題となり、上半期は昨年度までの作業の安定継続が重点課題となった。6か月が経過し、業務の習得は順調に行えたが、人員や車両台数の関係で回収量の増加は困難であり、新規回収先の開拓は実施しなかった。年間収入は補助金を含め約575万円となった。目標は680万円であったが、事業再編による人員、車両、回収先の減少を考慮しなかった数字であり、目標設定の誤りといえる。

受注事業収入については、あかしあグループと共同でダイレクトメール作業を計画的に受注し、1か月の目標受注量、22,000部に対し、約25,000部受注した。

就労支援事業における利用者工賃を除いた利益は1,709,569円となり、一人当たりの1日平均収益は870円となった。再編前の夢の意樹みどりの28年度の一人当たりの1日平均収益727円と比較して143円増加した。

3) 利用者の日中活動の保障

事業再編に伴う環境の変化に利用者が不安を感じないように、一人ひとりとのコミュニケーションを大切にし、安定して通所できるように支援する。

【成果と課題】

事業再編によって利用者数が減少し、職員の異動もあったが、活動の内容や環境に変化が無く、また継続して勤務の職員も複数いたことから、不安感などの兆候が見られた利用者はいなかった。上半期に実施した個人面談の聴き取りでも本人、家族から不安感を感じているとの話は無く、スムーズに新しい環境に慣れたといえる。

5 その他の課題・目標

1) グループ間の連携

各グループにリーダー職員を配置し、施設長と連絡を密に取ることで情報共有や相互協力を実施し、組織として一体的に事業が行えるようにする。

【成果と課題】

前述あかしあグループ5 1)と同様。

6 環境の整備

定期的に室内や建物周辺の清掃を実施し、年間を通して清潔な環境を保つことができた。

7 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健士等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努めた。

8 防災計画

災害時避難訓練を年3回実施した。

9 その他

福祉サービス第三者評価受診した。

10 開所状況

- 1) 開所期間 自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
- 2) 開所日数
 - (1) 週開所日数 5日間
 - (2) 開所時間 午前8時30分～午後4時
 - (3) 年間延開所日数 245日間
 - (4) 平均活動時間 7時間

11 利用状況

- (1) 利用者延人員 13,767人 (前年度 6,472人)
- (2) 1日平均利用人員 56.2人 (前年度 26.7人)
- (3) 体験実習実人員 5人 (前年度 3人)
- (4) 体験実習延人員 23人 (前年度 10人)

12 利用者状況(平成30年3月31日現在)

1) 年齢

20歳以上30歳未満	17名		
30歳以上40歳未満	15名		
40歳以上50歳未満	13名		
50歳以上60歳未満	11名		
60歳以上70歳未満	10名		
70歳以上	5名	平均年齢	44.4歳

2) 障害の状況

愛の手帳2度	10名	(内身障手帳所持	1名)
愛の手帳3度	15名	(内身障手帳所持	1名)
愛の手帳4度	17名	(内身障手帳所持	3名、精神保健手帳所持 1名)
身体障害者手帳1級	10名	(内愛の手帳所持	2名、精神保健手帳所持 1名)
身体障害者手帳2級	8名		
身体障害者手帳3級	5名	(内愛の手帳所持	1名、精神保健手帳所持 1名)
身体障害者手帳4級	2名		
身体障害者手帳5級	4名	(内愛の手帳所持	2名)
身体障害者手帳6級	1名		
精神保健手帳2級	4名	(内愛の手帳所持	1名、身障手帳所持 1名)
精神保健手帳3級	3名	(内身障手帳所持	1名)

3) 通所手段

送迎車利用	22名	(内4名交通機関、1名家族送迎と併用)
交通機関利用	30名	(内4名送迎車両と併用)
徒歩等	23名	
家族送迎	1名	(内1名送迎車両と併用)

4) 居住状況

管内居住	61名	管外居住	10名
------	-----	------	-----

5) 性別

男性	59名	女性	12名
----	-----	----	-----

13 作業収益及び工賃等

- ① 作業総収入 16,793,709円 (前年度 6,645,784円)
- ② 工賃総額 15,084,140円 (前年度 5,627,040円)
- ③ 平均工賃 月額 18,022円 (前年度 12,313円)

日給 1, 102円 (前年度 886円)
 時給 300円 (前年度 235円)

1.4 生活支援プログラム実施状況

1) 実施日数

- (1) PG実施日数 122日
- (2) 週平均実施日数 2.3日

2) 利用者 (平成30年3月31日現在)

- (1) 利用者数 1人
- (2) 利用者延人数 122人

3) 支援者 (平成30年3月31日現在)

- (1) 職員 1人
- (2) アルバイト 7人
- (3) 職員延人数 2人
- (4) アルバイト延人数 120人

4) 内容

- (1) ウォーキング 44回
- (2) プール 78回

1.5 夕方生活支援事業実施状況

- (1) 参加者 実27名 (内親の会利用者 3名)
- (2) 延べ429名 (内親の会利用者 34名)
- (3) 延実施回数: 110回

月別実施状況

実施月	実施回数	延参加人数
4月	8回	34人 (内親の会利用者 4名)
5月	9回	36人 (内親の会利用者 3名)
6月	10回	39人 (内親の会利用者 5名)
7月	8回	30人 (内親の会利用者 5名)
8月	10回	34人 (内親の会利用者 2名)
9月	8回	33人 (内親の会利用者 1名)
10月	9回	35人 (内親の会利用者 1名)
11月	10回	33人 (内親の会利用者 2名)
12月	10回	31人 (内親の会利用者 2名)
1月	9回	43人 (内親の会利用者 3名)
2月	11回	38人 (内親の会利用者 2名)
3月	8回	43人 (内親の会利用者 4名)

内容別実施及び参加状況

内容	実施回数	延参加人数
カラオケ	23回	44人
入浴	13回	75人
散歩	7回	21人
ボウリング	24回	50人
調理	11回	24人
ゲームセンター	3回	19人
スポーツ	13回	24人
プール	5回	5人
パソコン	11回	14人